

NEW SELBER M シリーズ 自動プレス監視モニタ

カス上がりユニット MX 簡易取扱説明書 Rev.2.2

・お願い

この取扱説明書は、MXに関する操作方法を簡易的に説明したものです。
 詳細な事柄については、MBに付属している共通取扱説明書をお読みください。

設置モードと操作手順

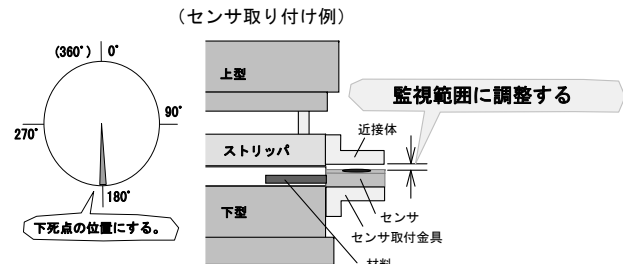
設置モード時は次の注意事項を守ってください。

・注意

- 設置調整確認出来る時間は、下死点状態にしてから、約2分以内です。それ以上の時間が経過した場合は一旦上死点まで上げ再度下死点にして確認してください。
- センサ交換は、プレスの上死点のときに行なってください。プレスの上死点で、センサヘッドと近接体は3mm以上離す必要があります。

設置モード

センサ取り付け位置は、プレス機が下死点の位置にきた時、監視可能な範囲にする必要があります。この監視範囲に調整または確認するモードを**設置モード**と言います。



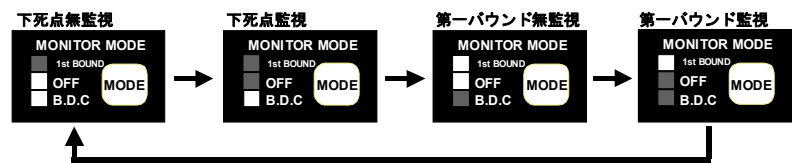
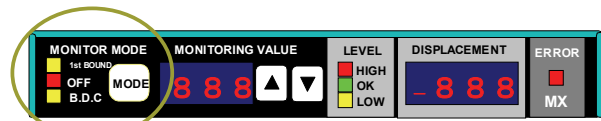
設置モードに入るにはベースユニット (MB) のSET「設置」キーを押します。SETTINGランプが点灯し設置モードになります。設置モードでは、センサと近接体の間隔が監視範囲に入っているか確認します。この時、ベースユニット (MB) に付属の隙間ゲージで「監視範囲」付近にあわせることが出来ます。プレス機を下死点の位置にして、OKランプが点灯するように調整してください。その時、表示右側に最適値から何μmずれているか表示されます。(±400μm)

状態	指示値	ランプ点灯	処置
離れすぎている	「+FFFF」表示する	HIGHランプ点灯	取り付け間隔を狭めてください
監視範囲にある	「±400」μmの範囲で表示する	OKランプ点灯	設置調整完了です
近づきすぎた	「-FFFF」表示する	LOWランプ点灯	取り付け間隔を広げてください

再度、SETキーを押すとSETTINGランプが消灯し、監視モードに戻ります。

監視モードの選択

「MODE」キーを押すごとに監視モードが変わります。選択したMONITOR MODEのランプが点灯します。監視をしていない場合はOFFランプが点灯します。本機の電源スイッチをオフにしてもこれらの設定内容は消えません。



監視値の設定

MXは前回下死点データと今回データとの差を変差(下死点変位量)として検出します。監視値は、変差が「設定された数値を越えると異常」とする値を「▲」「▼」キーで設定してください。符号は無視します。監視値は、0.5μm単位で0.0~99.5μmまで設定できます(監視中のみ表示)。電源オン後、モード変更後、設置モード変更後の1ショット目は、無監視になります。2ショット以降から監視します。また、変更後安定するまでの2~4ショット間について、監視値は設定した数値の×8、×4、×2の順に変化します。以降は×1の監視値となります。今回の変差が監視値を越えると、ベースユニット (MB) から停止出力を出します。(プレス機を停止させます。)監視値は、下死点監視または第一バウンド監視モードの時のみ表示します。無監視のときは表示しません。本機の電源スイッチをオフにしてもこれらの設定内容は消えません。



日常のプレス作業では、

運転するとき

センサの取り付け、監視モード、監視値の設定がされていれば、いずれの操作もなしにプレス機を運転してください。異常が発生した場合、本機は直ちに停止出力を出しプレス機を停止させます。

異常が発生したとき

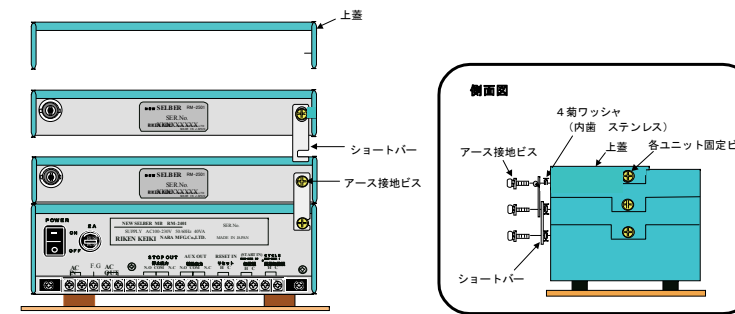
バリカス上がりなどで異常が発生した場合、本機は各ユニットの異常ランプを点灯し、ベースユニット (MB) から停止出力を出してプレス機を停止させます。異常状態表に従って原因を取り除いてから、ベースユニット (MB) の「RESET」キーを押してください。

異常状態表

異常状態	変差表示	ERRORランプ	LEVELランプ	発生理由	処置(解除)方法
変差異常	監視値以上の数値を表示した	点灯する	HIGH,OK,LOWのいずれかのランプが点灯する	カス上がりなどの異常発生によって、変差が監視値を越えたため	「RESET」キーを押すまたは、「RESET入力」端子をクローズし、リセット後オープンにする
レベル異常	監視値以下の数値を表示した		HIGH,LOWのいずれかのランプが点灯する	下死点において、近接体とセンサの取り付け間隔が監視範囲を出たため	
エラー異常		数秒間点灯後 消灯する	点灯しない	①同周期で信号が来ない場合、異常になる ②人為的に停止をかけたとき	「RESET」キーを押さずに再動作可能

各ユニットへのアース設置方法

MXを積み重ねましたら、必ず背面パネルに取り付けられているショートバーを下段のユニットと連結接続してください。



仕様

本製品は、日本国内向けの仕様です。

名称	型式	NEW SELBER MX	RM-2501
測定原理	方式	渦電流損失式 近接センサ	RS-833H
変差表示		±99.5μm LEDデジタル3桁(1デジット0.5μm±表示)	
監視値表示		99.5μm LEDデジタル3桁(1デジット0.5μm)	
くり返し精度		0.5μm以内	
異常処理		異常ランプ点灯、ベースユニット (MB) から停止出力 応答速度 停止出力を出すまで、10msec以内	
電源		ベースユニット (MB) から供給	
使用温度範囲		0~50℃	
最大使用可能回転数		4000 min ⁻¹ (spm)	
センサ設定距離		1. 2±0.4mm	
ケーブル長		近接センサ	ケーブル部分で10cm 中継ケーブル... 5m
寸法		約 200 (W) × 30 (H) × 130 (D)mm (突起物はのぞく)	
標準付属品		近接センサ	RS-833H 1本
		中継ケーブル	5m 1本
		近接体	1個
		センサ取り付け台	1個
		取り付けビス	
		六角穴付きボルト	M3×12mm 2本
		六角穴付きボルト	M5×15mm 4本
		スプリングワッシャ	M5用 4個
		平ワッシャ	M5用 4個

- 本機を使用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の仕様、および取扱説明書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

補償

納入後1年以内に発生した故障で、明らかに製造側の責任による故障が生じた場合には、本装置の一部または部品を無償にて交換修理をいたします。ただし、使用者の取り扱い上の不備など、納入者側の責任範囲を越えるものについては保証の対象外になります。故障が生じた時、お客様自らの修理はご遠慮ください。さらに重大な故障の原因になりました時の補償はいたしかねます。本機は日本国内向けの仕様のため、この補償は日本国内において適用しません。

製造・販売元
理研 計器 奈良製作所

お問い合わせ窓口 営業技術課
 お問い合わせ時間 9:00~17:00
 〒633-0054 奈良県桜井市阿部49-1
 TEL.0744-43-0051 FAX.0744-43-0056